

発行/広島県印刷工業組合

発行人/中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : [h.inkumi@estate.ocn.ne.jp](mailto:h.inkumi@estate.ocn.ne.jp)



## 「満開のシャクナゲ群」(飯室の右平花園)

暖かくなってきました。花があっちこちで沢山咲いています。そこで、花好きにはたまらない、シャクナゲの群生が見られる場所を紹介します。4月の中旬に「中国新聞」にて掲載されているのを見つけ、ネットで事前に色々調べて早速当地に行ってきました。

広島市内から車で30分から40分で到着です。駐車場に着くといきなり大きな木のシャクナゲが迎えてくれ、花園に行く途中からシャクナゲの花が多く咲いていて、思わず声が出てしまいます。外につつじ、八重桜、エビネ等も咲いています。山小屋に着くとお年寄のご夫婦とお手伝いの人たちが暖かく迎えてくれ、コーヒー付きで入園料が大人1,000円。これからアジサイ、秋にはもみじと楽しめます。キャンプもできるようになっています。但し、国道191号線から入っていく2キロの道路は細いので離合に気を付けて運転してください。

令和3年度下期中国地区印刷協議会より

DX-PLATの本格稼働に向けて

広島県中小企業団体中央会からお知らせ

広島県選挙管理委員会からお知らせ

福山支部だより

事務局だより ●組合の動き

【中国地区印刷協議会より】

## DX-PLAT の本格稼働に向けて 全日本印刷工業組合連合会 DX 推進プロジェクトチーム

「DX-PLAT」の開発をこの2年間進めてきましたが、いよいよ来年度の本格運用が近づいてきました。今一度、現在の進捗状況や新しく決まったこと、今進んでいるトライアルグループの状況などの報告をします。このDX推進事業は、滝澤会長が会長に就任されてから重要政策の一つとして、各地区から委員を出していただいております。通常委員会とは違い、三役会直轄の特別委員会としてスタートしました。

まず、DX 推進に取り組む目的としては、1 つは、この業界が抱えている「高付加価値創造産業への転換を図る」です。この「DX-PLAT」により、生産協調の促進をします。それにより、各社が高付加価値創造に限られた経営資源を集中投下することを可能にするということです。いわば、現代版の共創ネットワークとも言います。

続いての目的は、「生産性の向上」です。生産協調により、設備稼働率がアップし生産性が向上すると共に、このDX導入により、設備の稼働状況の把握や、あるいは、予定組み等も容易になり、スマートファクトリー化を推進するという事です。

3 つ目は、「経営の見える化と質の向上」です。MIS の導入により、収益管理や事務の効率化など経営の見える化を図ることができ、中小印刷業の経営品質の向上を図ることができる。

以上を具体的にこのDXを推進するために、全印工連が本年の6月から組合員のメリットとして、以下の

システムを提供しようとしております。我々、このシステムを「DX-PLAT」と名付けて呼んでいます。

**全印工連のDX推進の目的**

**高付加価値創造産業への転換**  
DX-PLATによる生産協調の促進により、各社が高付加価値創造のために、経営資源を集中投下できることを可能にする。いわば現代版「共創ネットワーク」

**生産性の向上**  
生産協調により設備稼働率がアップし生産性が向上し、DX導入により、設備の稼働状況の把握や予定組が容易になり、スマートファクトリー化を推進する。

**経営の見える化と質の向上**  
MISの導入により、収益管理や事務効率化など、経営の見える化を図ることができ、中小印刷業の経営品質の向上を図ることができる。

この「DX-PLAT」は主に、3つの目的を達成するために、1つずつシステムが組みられています。1つ目は、「組合員間の受発注システム」です。これをJSP: Job Sharing Platformと呼んでいます。このシステムは全印工連がオリジナルで、経済産業省の助成金と、メーカー・ベンダーさんの5社による寄附金により開発したものですので、オリジナルのシステムです。2番目に、組合員さまにご提供するシステムは、「生産性向上のための生産管理システム」です。こちらのほうは、JWS: Job Workflow Systemということで、「JWS」と呼んでいます。こちらのシステムは、富士フイルムビジネスイノベーション様の「プロダクションコックピット」というクラウド型の実業管理システムの使用許諾権を全印工連が入手して、イニシャルコスト無しに提供しようとしているものです。3番目、「経営の見える化のための基幹業務システム」。これは

MIS: Management Information Systemで「MIS」と呼んでいます。こちらのほうは、第一弾として、NECさんのMISにございます「SP-MULTI」というシステムの使用許諾権を全印工連が入手し、6月以降、こちらのほうもイニシャルコスト無しに、全組合員の皆さまに提供するというものです。

**DX-PLAT**

全印工連が本年6月から提供予定のシステム

- ◆高付加価値創造のための組合員間受発注システム (JSP: Job Sharing Platform)
- ◆生産性向上のための生産管理システム (JWS: Job Workflow System)
- ◆経営の見える化のための基幹業務システム (MIS: Management Information System)

MIS 単独での提供も可能になりました

ここで1つお知らせですが、現在までこのMISにつきましては、あくまでJSP、JWSも使用していただくなかでの提供というかたちで考えておりましたが、いろいろな打ち合わせ、あるいは協議の結果、このJSP、JWSの使用の如何に問わず、MIS単独でも、全国の組合員の皆さまに安価にご提供することが可能と

なりました。  
当初開発に参加していた5社とは、当然連携が取れておりますが、それ以外にも、組合員の皆さまは数多くのメーカーのデバイスを使用しています。このメーカーデバイスとのインターフェースが構築されていないと、なかなか皆さまには使っていただけないシステ

ムということで、こちらのほうにも取り組み、また、この「DX-PLAT」のトライアル実施ということで、全国の9地区でトライアルを、いま現在実施しているところでは。

続いて、6月から皆さまにこの「DX-PLAT」を使っただけのために必要な制度設計、主にルールづくりですとか料金、こういったことを検討することを、今期やってきたわけでは。また、引き続き経済産業省と連携をし、いろいろな意味での援助をしていただくことを、今期DX推進プロジェクトチームとして活動してきました。

まず、DXのセミナー、説明会等の開催状況ですが、2020年から各地でセミナーを開催しています。

なかなか「DXは分からないよ」といったような「何を全印工連はやろうとしているのか、ちょっと見えないね」というところが多いなかで、セミナーを開催した工組は、「非常によく分かった。理解が進みました」と評価をいただいています。今後もいろいろな工組で開催をしたいものです。是非、ご連絡をお願いしたいと思っております。

全国モデル地区におけるDX-PLAT

1	神奈川グループ 江森克治 6社	株式会社 協進印刷 地域連携型
2	1-2-C コンソーシアム 瀬田章弘 4社	弘和印刷株式会社 同設備連携型
3	あけぼの印刷団地 堀 ー 3社	株式会社 第一印刷所 産業団地内連携
4	ひろしまDX 中本俊之 3社	株式会社 中本店 地域連携型 発注者生産者連携
5	えひめ01 権名津隆治 3社	株式会社 明朗社 地域連携型 発注者生産者連携
6	あいちDX 酒井良輔 6社	知多印刷株式会社 地域連携型 発注者生産者連携
7	osaka5000001 作道孝行 2社	作道印刷株式会社 システム検証
8	DMのプロ集団 飯尾 賢 4社	株式会社 岐阜文芸社 全国同業者連携
9	ウエマツグループ 福田浩志 4社	株式会社 ウエマツ システム検証 グループ内連携

続いて「DX-PLAT」、主に生産管理のシステムと、各メーカーデバイスとのインターフェースの構築ですが、開発当初協賛をいただきましたSCREENグループ、それから富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ、小森コーポレーション、RICOH、そして富士フィルムビジネスイノベーション。この5社の皆さまとのデバイスとは既に開発段階でインターフェースの構築をしています。この1年、他のハイデルベルグ・ジャパン、リョービMHIグラフィックテクノロジー、そしてコニカミノルタジャパン、Horizon。この4社と今期はインターフェースの構築を続けてきました。結果、上記のメーカーデバイスとのJDF、あるいはCSVによるインターフェースの構築が完成しました。このように、メーカー横断型でいろいろなデバイスとインターフェースが取れている生産管理システムは、印刷業界としては初の快挙です。このシステムを、今年の6月から皆さまにご提供できるということです。

ちなみに、インターフェースの開発については、経

済産業省の「J-LOD」という「コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発・実証を行う事業の支援」から採択を受け、この助成金で半分は費用を賄っています。あとの半分は、業者の協賛金で開発ができたということです。しかし、皆さまがお使いのデバイスはまだ他にもあります。今後も補助金を使いながら、これ以外のベンダーでありますとか、あるいは皆さまがお使いのデバイス、こういったものとのインターフェースの構築にまい進し、より多くの組合員の皆さまに使っていただけるシステムに仕上げていくように考えています。



載 又 デ 表 カ 印 情 伝  
せ マ ザ 現 タ 刷 報 え  
て マ ザ 現 タ 刷 報 え  
。 イ ィ 現 タ 刷 報 え  
に ン ン し ち とい たい  
に を す ず う

NUMAIN

株式会社 沼田総合印刷

〒731-3271 広島市安佐南区沼田町阿戸657-1  
TEL. 082-839-2500 FAX. 082-839-2828  
e-mail. mail@numain.co.jp  
http://numain.co.jp

50th  
Thank you Anniversary 2021

おいしいの〜お安芸太田町

安芸太田町 勝手に観光大使 大倉啓司

有限会社 加計印刷

〒731-3501 広島県山県郡安芸太田町加計3444-1  
電話 (0826) 22 - 0568  
FAX (0826) 22 - 2325  
E-mail : kakeinsatsu@blue.ocn.ne.jp

次に、全国モデル地区における「DX-PLAT」のトライアル実施状況ですが、現在9つのグループが、このトライアルに参加しております。

本日は、このうち4社のグループのグループビジョンについて、説明をします。

最初に、愛媛県の明朗社の権名津社長のグループを説明します。現在の印刷業界の抱えた問題は、マーケットが右肩下がりのなかで、これからの10年を勝ち抜いていくためには、抜本的な意識改革・組織改革が必要だという考えのもとで、現在抱えられている課題は、設備の老朽化。新規の設備の導入を検討しても採算が合わない。また、設備の稼働率の問題。設備の稼働率が年々下がって、閑散期で半分の差が大きい。それから、人員の配置。印刷の受注件数が減っても、社員はなかなか減らせないといったようなことが現状の課題として、「ヒト、モノ、カネ」の課題としてある。また、ニーズの汲み取りにおいても、ニーズが多様化しているためにどうしたらいいのか、といったような課題を抱えているということです。

これに対して、設備の老朽化は、稼働の少ない設備を捨てて、採算性の合わない設備を新規導入しない。設備の稼働率の問題については、互いの保有設備の稼働率を上げて利益を確保していくんだと。グループ内のということですが。人員の采配、仕事を確保しながら、従来事業を徐々に効率化・最適化させることで、別事業への展開を用意する。ニーズの汲み取りということにつきましては、別事業を展開することにより、顧客のニーズを印刷以外の多方面から汲み取れるように体系を作るといったようなことを、対策として考えられています。そういうことで、この全印工連の「DX-PLAT」を活用していこうということです。

明朗社、それから第一印刷所、全印工連の仲間のなかで、地元地域のA社、B社。こういった4社は、「DX-PLAT」を活用して受発注を自動化していこうといったようなことです。これによって設備投資の費用が抑えられる。あるいは、別事業の展開に人員が振り分けられるといったメリットがあるということで、1社では設備は新しい設備を導入したくても、なかなか30人の事業規模では高額な設備投資は難しい。また、あるいは、1社が30人の事業で別事業を行おうとし

ても、別事業を育てるにも現在の30人では人手とスキルが不足している。従来事業で売り上げを支えながら徐々に育てていきたい、こういうことがあります。このような負担が大きく十分な投資ができないということで、リスクが大きい現状が課題。1社で取り組むと、このような課題があるということです。これを「DX-PLAT」を使用してグループとすることで設備投資が抑えられて、別事業の展開に人員が割り当てられるというメリットを目論んでいるということです。

3社合計で、グループ全体では120人。この設備においても、30人で設備を投資するのではなく、120人で投資するという考え方ですと、稼働数が増えて1社あたりの投資リスクが下げられる。また、人員についても、最適化・効率化した人員で従来事業を支えつつ、別事業デジタル化への振替、新規採用が容易になる。こういったようなかたちで、グループ化となることよっての負担を分散できて投資への可能性が広まり、よってあらゆるリスクヘッジが可能となるといったようなことを目的に、この「DX-PLAT」を活用されています。将来的にはそれ以外に紙の共同購入であったり、3社の、あるいは4社の情報の共有であったり、スキルアップ、総合教育であったりといったようなことを視野に入れて、このグループを運営していこうとされていると聞いております。

まず、初期効果としては、「DX-PLAT」の活用によって設備の稼働率を向上させたい。このようなことがありますが、今後の可能性ということで将来に向けては、組織改革や集約化、経営のスリム化といったようなことを考えられ、また、その先には緩やかなグループ化により、事業承継の可能性まで拡大しているというか、将来発展させようというそういうお考えだということです。

続いて、2つ目として、新潟県のあけぼの団地の紹介です。「DX-PLAT」を活用した印刷工業団地内の連携です。コンセプトは、設備単位、会社単位でファブレスとファウンドリと分かれる。生産者と発注者と分かれるということではなくて、もう、設備単位でファブレスとファウンドリとを分けている。持つ物、持たない物、作る物、作らない物、投資する物、捨てる物。こういったことをやるということ。要するに、



**私たちはこれからも  
KATSURA 新しい価値を提供して参ります**

各種印刷用ゴムローラ・諸資材

**株式会社 加賀ローラ製作所**

岡山営業所 〒701-1144 岡山市北区栢谷1632-1

TEL:086-294-9360 FAX:086-294-1881

本 社 〒544-0005 大阪市生野区中川5-3-13

TEL:06-6751-1121(代) FAX:06-6754-4400

<http://www.katsura-roller.co.jp/>

**断裁機と**

**オートカッティングシステム**



**株式会社 勝田製作所**

本 社 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西3-3-43

TEL06-6961-3945

勝田機械販売所 〒135-0041 東京都江東区冬木21-4(冬木ビル4F) ☎03-5245-1555  
福岡営業所 〒811-1255 福岡県那珂川市恵子1-17-402 ☎092-952-7111  
四国営業所 〒760-0080 高松市木太町1679番地 ☎087-861-7773

1本の矢よりも3本の矢ということで、こちらは今3社から始められようとされていることを、3本の矢になぞらえて表現されているものと思います。

このように3社の連携によりまして、人材の最適化を図ることによって売り上げはアップ。そして、投資が1社ではなく3社での投資といったようなかたちになりますので、投資の最適化ということで原価ダウン。そして利益はアップですが、これはまた持続への成長につながるという正のスパイラルも考えられているということです。

あけぼの印刷団地のグループとしては、第一印刷所、野崎印刷、新潟印刷の3社で、同じ団地内での連携を考えて、今グループ化されております。まず、ステップ1としての準備ベースとして、このグループの理念、目的を共有しようということ。それから、設備、仕様、品質等見える化、共通化を図っていく。次に、グループ間での受発注のルールを策定しよう。そして、「DX-PLAT」により用紙購入をしていこう。そのなかで、当然課題の抽出であったり、その課題を解決していくといったような先に、推進フレーズというかたちで「DX-PLAT」の本格運用と、またさらに課題の抽出、解決を行っていくといったようなかたちで、グループの展開を考えられている、こういったことです。

続いて、東京の弘和印刷の瀬田社長を中心とした「1-2-Cコンソーシアム」についてです。この「1-2-C」というのは、1色機、2色機の「1-2-C」でして、グループのメンバーは、全てこの1色機、2色機を中心とした印刷会社です。これはある意味分業が成立しており、東京での非常に象徴的なグループかもしれないと説明します。

「1-2-Cコンソーシアム」、4社のグループですが、1社ではそれぞれの規模は限られておりますが、この4社、1色、2色の四六全版、菊全のオフセット印刷を中心に行う4社が共創プラットフォームを作ることににより、4社の合計の印刷機は22台。そして四六全版、菊全版が22台、菊半裁は4色機が1台で、4つの会社を合わせて、従業員が190名というかなりの規模のグループとなります。構成メンバーは、今家印刷、カワセ印刷、埼京印刷、弘和印刷の4社でグループを作ることでして、

これについては、先般、新聞でも記者発表しておりますので、ご覧になっていただいた方も多いかと思います。この4社が有機的に協業することにより、各社共通の強みである1色、2色印刷各社の統合によって、魅力のある事業を増やすといったことを目的としています。

この「1-2-Cコンソーシアム」のなかで、このような分科会と会議を作られて、単純な生産協調にとどまらないグループを形成されようとしています。この戦略会議については、4社の代表者が月1回集まって、年12回の開催を予定されています。1色、2色の「1-2-Cコンソーシアム」の戦略の立案や、売上拡大の方法論などです。あるいはDX推進の戦略策定、広報宣伝活動の立案等をやられるということです。

営業分科会では、各社の営業の責任者が集まって月1回会合を開こうということで、中では得意先や仕入先の情報を共有する、あるいは、付帯サービスマップによって強みの見える化と集中強化というようなことを行う。また、ニュースレターの作成や配布、毎月の受発注の状況を共有しようということです。

続いて、技術分科会では、現場の製造の責任者の4人が集まって、工場視察、作業手順の作成、濃度管理手法、カラーなど、その品質の統一、かなり細かいですけどドライダウンのデータベース化、スキルマップの作成、SNSによる情報共有といったことを活動されようとしています。

DX分科会では、各社のDXシステムの責任者が集まって、各社のDX推進の連携、「DX-PLAT」の導入と運用のフォロー。この4社でのデータ、ドリブンによる生産性の向上や効率化を考えているということです。

現状2022年の課題として、いま各社、社内体制を準備中で、生産管理システムにそれぞれのデバイスをつなぐクラウドコネクターの導入を、今やっている最中です。4月からMISを導入してテストラン開始。そしてJSPの導入をし、6月にJSPのテストランを開始するということです。最終的には、9月にフルラインナップでの「DX-PLAT」の立ち上げを予定しているということです。今後営業業務活動を、分科会で、そういったものを一緒に行ったり、配送業務の共有をスタートするというです。

**Horizon**  
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、  
ポストプレスにフォーカスしてみませんか

ホリゾン・ジャパン株式会社

www.horizon.co.jp

UT UCHIDA TECHNO



紙枚数計数機

カウントロン  
AT-twin NEW

めくりクセがつかない計数機に  
ダブルヘッド型が新登場

用紙端2ヶ所の同時計数により  
精度向上と時間短縮を実現

ISO14001 認証取得企業  
ISO 9001

株式会社 **ウチダテクノ**  
(株)内田洋行グループ企業

〒116-0011 東京都荒川区西尾久4-25-3 ☎03(5901)2171  
〒540-8520 大阪市中央区泉町2-2-2 ☎06(6920)2460  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-20 ☎052(220)5270  
〒060-0041 札幌市中央区大通り東3-1 ☎011(241)2825  
〒816-0053 福岡市博多区東平尾1-18-54 ☎092(624)9988

www.utecs.co.jp  
070606

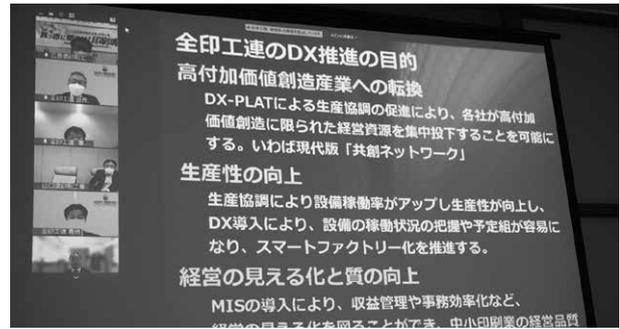
もう一つ、この「DX-PLAT」を活用した「DMのプロ集団」。これは岐阜県の岐阜文芸社飯尾さんと、アド印刷の古賀さんを中心としてダイレクトマーケティング市場にトライ。参加しているグループそれぞれがDMの仕事をしており、各種情報を共有してメーカー集団を目指す。それぞれの設備を活用して、DMをワンストップで製造できるプロダクト集団を目指す。各社の人材を活かして、シンクタンク集団を目指すといったことを目指しています。

九州のアド印刷、それから名古屋のメイセイプリント、岐阜文芸社。このような4社が今グループとしてこの「DX-PLAT」を利用した、全国を股にかけたDMのネットワークを作られようとしています。また、将来的には、株式会社エイコーという非組合員の会社ですが、こちら是非仲間に入って、組合員への勧誘といったこともされると聞いています。もちろん、製造をこの「DX-PLAT」でやるだけでなく、ゆくゆく将来的には、データの分析サービスや、品質の標準化、研修会の開催、資材の共同購入、DMサイトを共通で運用する。このような将来構想まで描いているということです。以上、4つのグループのビジョンを紹介しました。

続きまして、今期DXの制度設計、ルールについてご説明をさせていただきたいと思います。委員会におきまして、「DX-PLAT」の利用規約といったものを制定しました。ただし、こちらのほうは全印工連の総会での決議事項です、この総会でこの規約が決議されませんと、皆さまに「DX-PLAT」を提供することはできないということになります。ですので、最短でも今年の6月からの提供といったようなことになりそうです。

この規約以外にも、グループ運用規定、グループ加入規定などの利用規定をいま制定しているところです。基本的には、2社以上でグループを作って加入いただく。1社1社それぞれは、複数のグループに加入いただいても可能といったようなことになっておりました。また、MISだけでもいいから使わせてほしいといった、MIS単独での利用も制度として可能になりました。これは組合員の皆さまにとって、非常に朗報なのではないかと考えております。

続いて、料金の制度設計ですが、これはまだあくまで制度設計部会での答申の案ですので、正式には3月に開催するDX推進プロジェクトの委員会にて決定する予定ですが、現在の案としてはJSPのみを使う。要は、組合員間の受発注のみのシステムのみ使う。いわゆる、発注することに徹するといったような方は、月額料金1万円のみです。プラス、生産管理システムも使いたいということであれば、月額の基本料金は2万円ということになりますが、当然仕事が行われます。その基本料金プラス従量料金というかたちで、その取引きの30万円以下の場合、30万円以下の部分の1%という従量料金をいま考えているところです。30万円を超える取引きについては、30万円以下の部分が1%、そ



こを超えた部分に対しては0.5%というかたちで、基本料金と共に従量料金が発生するということです。ただしこの従量料金は、受注した側のみの料金でして、発注サイドはこの費用はかかりません。

そして、MISだけの使用もOKというかたちですが、現在のところは、このMISについては、NECの「SP-MULTI」というシステムのみがラインナップされていますが、こちらのほうは、月額の利用料金1万円利用できる案で、いま現在進んでおります。

JWS、MISにつきましては、上記利用料金以外に機械のマスター設定ですとか、機械の設定等に初期設定費用が発生するということはお知らせをしなければなりません。いずれにしても、通常、皆さんがシステムを買えば、まず、システム代金が何百万、あるいは何十万とかがかかりますが、こちらのほうがかからないということで、サブスクリプションでこのような料金体系になって、非常に使いやすく制度設計をしているところです。

現在、東印工組で開発中のクラウド型のMISも、この全印工連が提供するMISのラインナップに加わる予定です。それ以外にも、このラインナップに加えるMISを増やしていくといったような考え方でいるところです。

最後に、今後の展開ですが、本年6月をめぐりに全印工連所属の全組合員に、こちらの「DX-PLAT」を提供していこうと考えています。また、この「DX-PLAT」については、付加価値創造のために前工程になります。企画デザイン工程のグループとのシステムの連携であったり、あるいは、後工程になります。物流工程とのシステムの連携等も今後模索をしていきたい。また、取引データが積み上がるとビッグデータとして有効活用することも可能ということも、これも考えていきたいと思っております。また、全印工連のみならず、印刷の他の団体とも連携を図るといったようなことを考えていきたいと思っております。

私どもDX推進プロジェクトチームがいま現在活動しております。「DX-PLATの本格稼働に向けて」というテーマでご説明をさせていただきました。ご清聴どうもありがとうございます。

注. 料金のところで、受注をされる方は、これは生産管理を使う、使わないに関わらず、JSPかJWS両方必須になりますので、使用される方は月額3万円、発注のみの方は1万円ということです。

【広島県中小企業団体中央会からお知らせ】

**アフターコロナ対応経営革新推進事業補助金のご案内**

新たなビジネスへの挑戦を支援します！ アフターコロナを見据え、新事業展開（デジタル化を含む）などを図るための設備投資や、人材育成、販路開拓などに取り組む「経営革新計画」を新たに作成し、承認を受けた事業者に対して、経費の一部を補助します。

「経営革新計画とは」 新商品・新サービスの開発や、商品の新たな生産方式の導入、サービスの新たな提供方式の導入など、事業者自らの創意工夫に基づく新たな取組（新事業活動）を行うことにより、経営の相当程度の向上を図る事業計画のことです。計画の承認を受けると、アフターコロナ対応経営革新推進事業補助金を申請することができます。また、信用保証・融資等の優遇措置を受けることができます。

対象者：令和4年3月～11月の間に、新たに広島県の経営革新計画の承認（変更承認を除く）を受けている者

※本補助金申請は、R4.3～11の間に新たに広島県の経営革新計画の承認を受ける必要があります。

補助率及び補助上限額：補助対象経費（税抜き）の2/3以内、補助上限額100万円

詳細は、添付のチラシやホームページをご確認ください。

○アフターコロナ対応経営革新推進事業補助金ホームページ

<http://chuokai-hiroshima.or.jp/keieikakushin-suishinhojokin.php>

【広島県選挙管理委員会からお知らせ】

**選挙運動用ポスターの印刷上の留意事項について**

今年は、参議院議員通常選挙がある他、市議・県議の辞職による補欠選挙等が執行される予定ですが、組合員も選挙運動用ポスターの印刷を受注されることがあると思われまます。つきましては次の事項に留意され、適法な選挙運動用ポスターを印刷してください。

**1. 掲示責任者の記載について**

掲示責任者の氏名、住所をポスターの表面に記載しなければならない。

この場合「掲示責任者」の文字を必ず記載し、「氏名」「住所」を記載すること。

記載例 掲示責任者 丙野太郎 広島県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

**2. 印刷者の記載について**

1と同様にポスターの表面に「印刷者」の文字を必ず記載し、印刷者の「氏名（法人にあっては名称）」、「住所」を記載すること。なお、次の点は特に注意すること。

① 印刷者が法人の場合は、印刷者 〇〇印刷株式会社 広島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号

② 印刷者が個人の場合は、印刷者 乙野次郎 広島県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

**3. 過去の誤載例**

項	目	誤	正
	「掲示責任者」の文字の記載	「責任者」「掲示者」	「掲示責任者」
	「印刷者」の文字の記載	「印刷所」「印刷責任者」 「印刷」「製作・印刷」	「印刷者」
印刷者の 氏名の記載	印刷者が個人	「〇〇印刷（所）」	「個人の氏名」を記載する
	印刷者が法人	「〇〇印刷（所）」	「株式会社〇〇印刷（所）」 「〇〇印刷株式会社」 「有限会社〇〇印刷」

【福山支部だより】4月例会

「箔押しの世界」 浮き出しがエンボスです

タイトルのとおり、勘違いしていました。改めて奥が深いと思った箔押し、浮き出し、型押しのお話。4月6日(水)、福山支部価値組委員会の4月(第220回)例会の取組み発表でのお話です。

今回は府中支部長のイチカワ印刷(株)市川社長の箔押し、浮き出し、型押しのお話。タイトルは「市川さんの世界観」。いろんな事例についてお話いただきました。

めちゃくちゃ奥が深く面白く、まず認識が間違っていました。皆さんエンボスはどのような加工だと思いますか?ほら、紙でエンボス紙ってありますね、あれ、型押しして凹んでますよね。だから型押しして凹ませる加工のことをエンボス加工と思っていましたが、実は逆に「浮き出し加工」のことをエンボスって言うんですって。

こういう型押し・浮き出し加工だけでなく、市川さんの得意技は「箔押し」加工。先ず箔押しに使う凸版の素材の話から始まり、箔のフィルムの構造、そして箔の糊についても興味深いエピソードを教えてくださいました。箔押しって、どんな印刷物に対しても同じように出来るのかと思っていました。もちろん用紙を選ぶのは知っていましたが、だけど印刷の種類によって箔の種類を変えると

間違えないように イチカワ印刷(株)社長

という話は初めて聞いた。同じオフセット印刷でもUV印刷の場合は拍の種類を変える。それもUVの方式によっても相性があるんだとか。最初に、どうしてこうなるか?を丁寧に理解できるように教えてもらえるから。そうすると次回から話が早くなる。事前に市川さんにデザイン段階から踏み込んだアドバイスをもらう事が良い印刷物を創る近道だと思って。

これからの印刷は、それなりの印刷と、きちんとした印刷に分かれていく。きちんとした印刷会社として残っていくためには、ここら辺りの配慮をしっかりとっていくようにならないといけない。市川さんのお話を聞きながら、そんな事を思っていました。(小田)



事務局だより

◎ 組合のうごき

4月	15日	組合会計監査	印刷会館
	21日	常任役員会・理事・情報	東京
		J P P S 講習会	web会議
26日	2022第2回夢メッセ三役会 第1回常任理事会 第1回拡大理事会、会館取締役会	印刷会館	
5月	10日	青年部会総会	印刷会館
	19日	広島県印刷工業組合通常総会	リーガロイヤルホテル広島
	24日	2022第3回夢メッセ三役会 広島印刷会館株主総会	印刷会館
	25日	常任役員会・通常総会	東京
	27日	経営革新マーケティング委員会 環境労務委員会	東京

広島県印刷工業組合通常総会  
開催のご案内

次のとおり、通常総会を開催しますので万障お繰り合わせのうえご出席ください。

日時 5月19日(木) 午後5時00分  
場所 リーガロイヤルホテル広島

なお、今回は懇親会を開催

※新型コロナ禍のためマスク着用必須

訃報

丹下印刷所 社長 丹下 和子様がかねてから療養中でしたが94歳で4月5日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げ 謹んでお知らせします。

「品質管理の原点」は  
注意力・集中力・判断力の  
三要素に集約されると心得て、努力し勤めています！

有限会社 エガワセイホン

〒733-0012 広島市西区中広町2-25-12 TEL 082(233)1500